

共同住宅用消防計画

消防計画

この計画で定めたことは、居住者全員が守らなければなりません。

第1 防火管理者等の業務について

防火管理者は、次に掲げる業務を行う。

- 1 消防本部への報告及び連絡。
- 2 居住者への火災予防対策及び火災発生時に近隣者が行うべき行動の呼び掛け。
- 3 共用部分における消防用設備等の点検及び維持管理。
- 4 建物、屋外階段等の自主検査の実施及び報告。
- 5 居住者に対する消防訓練参加の呼び掛け。
- 6 共用室・共用部分の火気の使用又は取り扱いに関する監督。

第2 防火管理業務の一部委託について 《 該当 ・ 非該当 》

防火管理業務を一部委託している場合は、別表1に詳細を記入すること。

第3 管理権原者が分かっている防火対象物（階段室の共用部分を含む）の責任範囲について

管理権原者の責任範囲は、別表2に明示するものとする。

第4 居住者が行う防火管理対策について

居住者は、自己の責任において、次の対策を行う。

- 1 住戸内における火気管理。
- 2 住戸出入口防火戸の閉鎖機能の維持管理。
- 3 バルコニー等における避難障害となる物件の除去。
- 4 階段・通路等の共用部分における燃えやすい物及び避難障害となる物品の除去。
- 5 消防用設備等の周囲における使用障害となる物品の除去。
- 6 防火水槽・消防水利の採水口、連結送水管の送水口、構内通路の周囲における使用障害となる物品の除去。
- 7 地震に備えて、家具等の転倒防止、非常用物品の準備・保管。
- 8 各住戸内の消防用設備等の維持管理。又、異常等が見受けられた場合は、速やかに防火管理者に報告すること。

第5 火災が発生した場合の行動について

- 1 火災を発生させた者又は火災を発見した居住者は、大声等（非常ベル等）で他の居住者に知

らせる。

- 2 119番通報は、火災を発生させた者又は同一階の居住者が協力して行う。
- 3 初期消火は、消防隊が到着するまで居住者が協力して行う。
- 4 玄関から避難できない場合にあっては、バルコニーの仕切板を破壊して隣戸から安全な場所へ避難を行う。
- 5 その他
 - (1) 避難する場合は、エレベーターを使用しない。
 - (2) 防火管理者は、通報、初期消火を行うとともに、居住者に対して情報伝達及び避難誘導を行う。

第6 地震時の行動について

- 1 地震発生直後は、身の安全を守ることを第一とする。
- 2 地震が発生した場合は、使用中の火気の消火を行う。
- 3 各設備器具は、安全を確認した後使用する。
- 4 その他
 - (1) テレビやラジオ等で正確な情報収集を行う。
 - (2) 防災関係機関の避難指示や勧告が出た場合は、広域避難場所に避難する。
 - (3) 地震に関する警戒宣言が発令された場合は、火気使用の自粛又は使用中の監視を行う。

第7 訓練について

- 1 防火管理者は、居住者に対して消防用設備等の設置場所及び使用方法、避難経路等の周知徹底を行う。
- 2 居住者は町会、自治会等が実施する地域の訓練に積極的に参加して訓練を行う。
- 3 居住者は、消火器等を用いた消火訓練を積極的に行う。
- 4 その他
 - (1) 訓練は、毎年____月頃に実施する。
 - (2) 訓練は、防火管理者等が火災等災害発生時に居住者に対して情報伝達及び避難誘導が的確に行えるように実施すること。
 - (3) 防火管理者は各居住者に対し、避難経路、火災等災害発生時の対応行動等を記載したパンフレット等を各階共用部へ掲出したり、広報板に明示して周知徹底する。

第8 消防用設備等の法定点検及び報告について

- 1 消防用設備等の法定点検は、6カ月に1度____月と____月・1年に1度____月に実施し、____年に1度岸和田市消防長に報告する。
- 2 その他
 - (1) 防火管理者が、消防用設備等の点検結果報告書などを整理して管理人室等で管理する。
 - (2) 団地内における建物、階段、消防用設備等の施設・設備等の維持管理については防火管理者が行い、自主点検結果等は管理人室等で管理する。
 - (3) 防火管理者等は、消防用設備等、建物、火気設備器具及び電気設備等について適正な機能を維持するため、定期的に自主点検・検査を実施すること。

第9 放火防止対策について

- (1) 建物内外の整理整頓、共用部分等には、可燃物等の物品を置かない。
- (2) 防火管理者は、火気管理や避難施設等の維持管理をするために、共用室・共用部分の自主検査（日常）を実施する。

第10 避難経路図について

防火対象物の各階避難経路図は、別図1に明示するものとする。

附 則 この計画は、_____年___月___日から施行する。

防火管理業務委託状況表

(年 月 日現在)

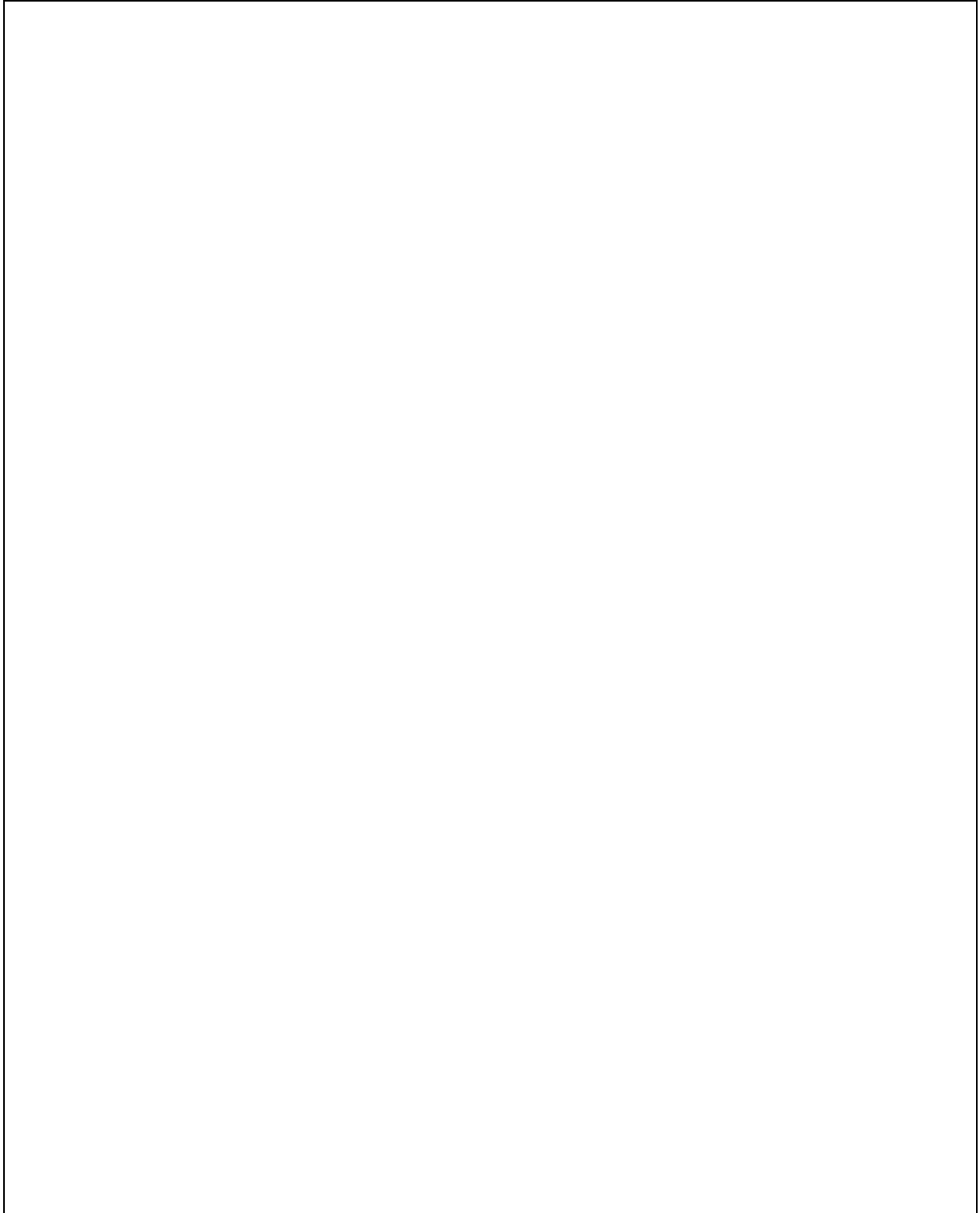
委託方式		<input type="checkbox"/> 常駐 <input type="checkbox"/> 巡回 <input type="checkbox"/> 遠隔移報 <input type="checkbox"/> 常駐遠隔 <input type="checkbox"/> 巡回遠隔				
防火対象物	名称	TEL () -				
	所在地					
	管理権原者氏名		防火管理者氏名			
受託者関係事項	受託者の氏名	氏名 (名称)				
	住所	住所 (所在地)				
	*法人等の場合 名称及び事務所の所在地	担当事務所				
		TEL () -				
	受託者の行う防火管理業務の範囲	<input type="checkbox"/> 火気使用箇所の点検等、監視業務 <input type="checkbox"/> 火災異常の遠隔監視及び現場確認業務 <input type="checkbox"/> 避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理 <input type="checkbox"/> 火災が発生 (発見) した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> 避難誘導 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 周囲の可燃物の管理 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	受託者の行う防火管理業務の方法	受託区域				
		常駐場所	TEL () -			
従事区分		<input type="checkbox"/> 終 日	<input type="checkbox"/> 就業中	<input type="checkbox"/> 就業外		
常駐人員						
従事時間帯		*****	: ~ :	: ~ :		
巡 回		回 (名)	回 (名)	回 (名)		
	要員待機場所		到着所要時間	覚知後 分		
教育担当者 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	氏名		職務上の地位			
	資格要件	講習機関				
	修了年月日	年 月 日	修了証番号	第 号		

管理権原者が分かれている防火対象物（階段室の共用部分を含む）については、不明な部分が生ずることがないように、当該権原の及ぶ範囲を文章、平面図等により明示するものとする。

防火対象 物名		テナン ト名	
所在地		管理権原が 及ぶ階 並びに面積	階
			面積 m ²

(文章明示できない場合別紙添付)

防火対象物の各階避難経路図を朱書きで記入し、消火器等の設置場所を適正に記すこと。



(別紙添付可)